

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360,

USABURO NAITO

2 MUKAIYAMA MYODAIJI CHO
OKAZAKI JAPAN



No. 3 (Aug 15. 1962)

昭和37年8月15日

第360区各ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

中根芳松

国際ロータリー

第360区ガバナー

内藤卯三郎

〔直接関係の深い本部の人々〕



第一副会長
クラフト氏
(シヤトル)



第二副会長
トンプソン氏(英)



第三副会長
ジロー氏(仏)



ラハリー会長



事務総長
ミーゼズ氏



財務局長
ホリスター氏



東半球局長
パターソン氏

Kindle the spark within
Discover yourself
Develop your power
Demonstrate your purpose
— President Nitish C. Laharry —

—〔青少年交換への奉仕〕—

(Service for youth Exchange) —

R.I.の仕事の中で奨学の問題は、国際親善の上から見て、最も有意義な仕事の一つであることに、誰も疑いを持たないであろう。

ラハリー会長はよく話の中で「世界は1つである」ということや「親善を基調とした世界秩序の構成」ということを説かれるが、この遠大なロータリーの理想の第一歩をふみ出しているものが、ロータリー財団による奨学生の制度であるということができよう。

これと同じ精神から近頃行われ始めているのが、Rolaのような青少年交換への協力である。

- (1)「ニュージーランドのような国から日本を見に来る人はあつても日本からニュージーランドへ行く希望者は少いであろう」という人がある。また
- (2)「沢山の経費を負担することになるとどしどし、そうやつて来られては困る」という意見もあるし、
- (3)「お客様の見たいと希望するところはいつも大体きまつている。その度に、そのクラブが経費を背負いこむのではかなわない受入れにも限度がある」という意見もあるまた口に出しては言わないが腹の底では
- (4)「わが子の旅行でさえそういつも安々と出す訳ではないのに見ず知らずの異国の青少年に費用や時間をかけるのは」とか
- (5)「せめて歐米の青少年であればだが」とか思っている向きもある。何れも皆一応御尤もな考え方でもあるし、誰しも日本人としての人情から無理でないことのようにも思われる。

そこで私の申し述べたいのはラハリー会長の言葉の深さをもう一度味つてみたいということである。そしてともかくもこのような意見や考え方を思い直してみるのに、4way testが大そう役に立つであろうという点である。

そしてこれを処理するには、日本のロータリアンが皆同じ気持になつて、協力してい

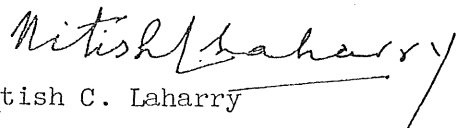
くことが第一であるということである。「世界は一つである」という気持に立てば(1)と(5)は立ちどころに片がつくであろう、4way test にかければ(2)も(3)も(4)も結論は「それはやるべきだ」と出るのが良識というものであろう。

唯残るのは実施上の無理のない具体策だけになる。

第352区(青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島)ではロータの財源はクラブ各員から100円 ずつ地区資金へ上半期分として払込んでもらつた中から支弁すると伝えて来て居るし、第355区(新潟、茨城、栃木、群馬)ではレーク、ブラシツドの国際アツセンブリーで、既にこちらから受入れを用意して濠州のガバナーに働きかけ、交換計画を申込んでいた程である。

本地区に於ても先頃の幹事懇談会で武藤ガバナーからロータの内容を説明して協力方を懇請したとき満場の拍手が送られていたことであるから、要するにこの問題の残るところは現ガバナーとしての私が、どのようなお呼びかけをするかということになる。もちろん先輩のバスターガバナー方の意見をよく伺つた上立案するつもりであるが、それよりも各クラブの御意向をよく伺つた上での思い、この文を草した次第である。

支那の諺に「余暇あるを待つて読書せんとすれば生涯読書することなかるべし、余財を以て徳を施さんとすれば終生義捐の機無かるべし」というような文句のあつたことを思い出すのである。


Nitish C. Laharry

から

今度理事会と財団管理委員会との会合でロータリー財団の活動範囲を拡げる気運が熟してきたことを御知らせできることを私は大そう満足に思う。

昨年度(1960~1961)のロータリー財団の総額は八十二万五千六百一ドルに達したが、

(1961~1962)の終りにはもつとずつと膨張するものと予想することができる。そこで

- (1) ロータリー財団の仕事を今年のスケジュールの上でいかに充実させるか
- (2) 国際親善の意味から世界のどんな新しい地域を留学先に加えていくか

というような審議が、おそくとも1964年の五月迄には(早ければ1963年の五月迄に)決論が得られると予期している。

この活動は理事会の意向が管理委員会に反映した結果で、管理委員会ではなるべく早期に奨学生のプログラムを拡げるか、或は財団の他の活動を発展させるか、又は同時に兩者を行うか研究している。

何れにしてもこのような拡充は全ロータリークラブや全ロータリアンの支持の強化にまたなければならない。

—〔1日講習会〕—

(One day institute) —

9月9日熱海クラブをホストクラブとして1日講習会を開催。カウンセラーは松本兼二郎氏(370区パストガバナー)出席を要請されているのは、各クラブの会長、会報編集者、ロータリー情報委員長、職業分類委員長、特別代表等。

当日はおくばりしておいた書類をお忘れなく御持参のこと。

—〔公式訪問日程変更〕—

先月十五日発行の月報所載の日程中八月十三日から十七日に到る、松本南、岡谷、伊那諏訪の公式訪問は都合により中止。

8月9月の公式訪問日程は次の通り。

8月1日 碧南 2日 半田 3日 田原
4日 蒲郡
9日 豊田 10日 安城
18日 美濃 20日 岐阜西
21日 土岐 22日 多治見 23日 中津川

24日 瑞浪 25日 恵那

29日 岐阜 30日 高岡

31日 七尾

9月3日 金沢東 4日 大垣西 5日 大垣

12日 静岡東 13日 吉原 17日 静岡

18日 清水 19日 岡崎 20日 豊橋

10月(多少変更ある見込み)

1日 桑名

2日 四日市北

3日 四日市

4日 岐阜南

5日 名古屋北

15日 駒ヶ根

16日 岡谷

17日 飯田

18日 伊那

—〔ニュージーランド学生の来日〕—

ロータの青少年一行はパーカー団長以下7名、7月30日に名古屋へ到着した。日程がつんでいた故か相当疲労の色が見えたので、多少予定を変更したが、名古屋、伊勢、四日市、岐阜、富山と、それぞれのクラブの御世話により、355区へ無事旅行を続けることになった。

青少年交換委員の方々や、各クラブの御協力を厚く感謝する次第である。国際親善に寄与した功は大きかつたと思う。

〔地区大会出席のR.I.会長代理決定〕

ラハリー会長からの来信によれば、本年次日本に於けるすべての地区大会に会長代理として、パストヴァイスプレジデントで、現在R.I.のプログラム計画委員である Claude W Woodward氏を選任したということである。また Woodward 氏 自身からの手紙には、Ineg 夫人同伴のことが認めてあり、美しい国、日本を見ることのできることの喜びが述べられている。

〔インターシティー ジェネラルフォーラムの予定〕

(Plan of Inter-City General Forum)

県	月 日	ホスト クラブ	予定リーダー
富山・石川 県下	9月22日	砺波	盛田 秀平氏
静岡県下	10月21日	浜松東	武藤 嘉一氏
岐阜県下	11月23日	中津川	山岸勇次郎氏
愛知県下	11月25日	豊橋北	伊藤次郎左工門氏
三重県下	12月2日	上野	九鬼 紋七氏
長野県下	明年の予定	上田	戸田 直温氏

〔地区大会協力費の送り先〕

前回の月報に誤記しました。深く御詫びいたします。既に荒川氏あて送金された向きは転送されていますから御心配はいりませんが今後の分は下記あてに願います

★ 銀行振込の場合は

名古屋市中区栄町二 東海銀行本店
営業部
国際ロータリー³⁶⁰₃₆₅地区連合年次大会

副幹事 中村達郎氏 宛

★ 小切手、現金送金の場合は
名古屋市中区仲之町一名古屋観光ホテル内
国際ロータリー³⁶⁰₃₆₅地区連合年次大会

副幹事 中村達郎氏 宛

◎ 尚大会協力費は 9月1日の現員により1人につき540円ずつであります。

— 〔出席の報告〕 —

7月分の報告は、8月9日迄に全部届いた、深謝。但しクラブ名が無くて困つたのがあつた。

〔米山記念奨学会の委員をお早く〕

委員長の小林雅一氏から関係クラブの会長あてに委員選出についての依頼が来ている筈であります。御精読の上早く委員を御とりきめの上 東京都千代田区丸の内丸ビル757

ロータリー米山記念奨学会へ

知らして上げて下さい。

— 〔ロータリーおけさ〕 —

- (1) 国際親善、世界の平和よ
つなく手と手の、五十万
- (2) 種子をまくら若人のフアンドよ
花が咲きだしやまたみのる
- (3) 胸の歯車どちらえまわるよ
右や左にや動きやせぬ
- (4) 歯車つけた人ずらりと並び
ひかる奉仕で目がまわる

— 〔ロータリーどどいつ〕 —

- (1) ロータリーロータリーとのぞいてみても
は入らにや、わからぬ、かいの味
- (2) 女房も伴もロータリーが好きよ
やるほど、出るほど、ほめられる
- (3) 入れたい娘もはいれずじまい
すきなおやじのロータリー

— 〔ロータリー炭坑節〕 —

- (1) 鐘が鳴る鳴る鐘が鳴る
定刻知らせる鐘が鳴る
たんまり報告かかえ込み
さぞや幹事さんつらいだろ
- (2) 箱が出た出たニコばこが
誕生日じやなし 何じやろか
女房が好意の 新調服
胸のきしようが おちていた
- (3) 社長が来た来たもう来たか
秘書のこの室のぞいたか
あしたはロータリーの定例日
少しや昼寝もできるだろ
- (4) ガバナが来る来る、ガバが来る
書類は出来たか、みんな居るか
あんまり平素が平素だで
さぞや会長さん煙たかろ

(以上 戯作披露。「作者は」と問われたら作者はないと御答え乞う)

—〔第360地区の会長と幹事〕—

クラブ名	会 長	幹 事
安 城	菅 富 一	太 田 定 一
熱 海	岩 本 義 雄	鈴 木 潔
熱海南	野 田 彦 八	原 英 雄
尾 西	伊 藤 隆	藤 本 芳 二
蒲 郡	塩 野 定 雄	近 藤 茂 次
下 呂	滝 多 賀 男	服 部 一 幸
岐 阜	山 中 義 一	山 崎 一
岐阜南	川 島 三代雄	広 瀬 静
岐阜西	加 藤 達 人	福 島 敏 雄
浜 松	山 田 鉄三郎	高 部 武 彦
浜松東	榎 木 久馬太	鈴 木 格 二
半 田	山 川 幸 男	石 川 久 一
碧 南	倉 内 実	山 中 寛 三
一 宮	森 常 保	加 藤 雅 樹
飯 田	吉 沢 新兵衛	木 下 一 人
伊 那	樋 代 準 平	中 村 弥紋太
伊 勢	秋 田 喜 助	乾 英 夫
伊 東	鈴 木 計 夫	土 屋 武 男
金 沢	麻 生 徳 次	坪 野 俊 雄
金沢東	柴 田 三 郎	鈴 木 菊 雄
刈 谷	広 瀬 惣 平	近 藤 三 蔵
駒ヶ根	芦 部 啓太郎	高 谷 章 次
小 松	加 登 周 一	近 沢 五 三
桑 名	蛭 川 治 郎	西 羽 喜一郎
松 本	大 石 健 治	寺 村 徳兵衛
松本南	赤 羽 貞 美	奥 沢 俊 一
松 阪	田 所 誠 一	磯 田 登
美 濃	小 坂 兼 吉	総 山 和 雄
三 島	大 川 順 三	野 田 隆 興
瑞 浪	伊 藤 洋 三	後 藤 慎 介
名古屋	藍 川 清 英	西 野 新兵衛
名古屋東	水 野 太 賀	小 林 宗 次
名古屋西	伊 藤 長 一	伊 藤 寛太郎
名古屋南	井 上 愛 一	岩 田 久 治
名古屋北	黒 田 忠 護	落 合 茂
中津川	鴨 川 正 雄	酒 井 公 雄
七 尾	松 本 勝 治	高 沢 英 一

クラブ名	会 長	幹 事
西 尾	杉 浦 茂左衛門	鈴 木 清
沼 津	保 志 遠 平	宇 野 三 郎
沼津北	小 林 完	山 下 清 光
大 垣	須 崎 潔	久 世 彌 平
岡 崎	松 井 弘	大 村 竹 次
岡 谷	古 村 敏 章	小 口 範 男
瀬 戸	加 藤 寿 保	大 塚 達 治
島 田	八 木 利 一	青 木 武 郎
清 水	鈴 木 要 二	望 月 竜太郎
清水北	回 持 史 郎	松 田 俊 夫
下 田	菊 池 伝次郎	太 田 郁 郎
静 岡	青 島 富太郎	稲 森 祐 一
静岡東	鈴 木 実	加 藤 誠 一
諏 訪	土 橋 由 衛	飯 田 新 治
田 原	広 中 実之助	彦 坂 景 雄
多治見	鈴 木 計 男	斉 藤 正 彦
高 岡	金 森 藤 平	定 塚 源 次
高 山	森 彰	船 坂 真 平
砺 波	館 金 吾	上 田 豊 信
富 山	中 山 精 一	新 田 嗣治郎
豊 橋	牧 野 新 二	河 合 圭 吉
豊橋北	佐 野 武 四	藤 城 楯 蔵
豊 川	木 下 喜 雄	岩 瀬 義 雄
豊 田	山 本 正 男	寺 田 勝 一
津	内 田 友 作	辻 新 治 郎
津 島	岡 田 和 雄	丹 下 周吉郎
上 田	大 谷 貞 男	駒 崎 鉄五郎
上 野	村 井 忠 生	太 田 当 吉
魚 津	金 川 四 郎	浅 尾 久 矩
焼 津	長谷川 基	青 島 厳
四日市	新 井 宣 篤	小 林 太 郎
四日市北	河 村 治 祐	伊 藤 吉衛門
吉 原	西 村 清 策	矢 野 喜 一
犬 山	後 藤 善 六	堀 尾 源 吾
土 岐	籠橋 産右衛門	高 橋 市 造
恵 那	斉 藤 茂	市 川 信 平
大垣西	井 上 芳 之	樋 谷 芳 郎

〔1961～1962 第360地区クラブ別出席表〕

順位	ク ラ ブ 名			出席率	順位	ク ラ ブ 名			出席率	順位	ク ラ ブ 名			出席率		
1	沼		津	100.000	27	瑞		浪	95.911	53	大		垣	90.774		
1	三		島	100.000	28	岐	阜	南	95.878	54	土		岐	90.554		
3	吉		原	99.953	29	飯		田	95.768	55	半		田	90.173		
4	熱		海	99.948	30	伊		勢	95.673	56	恵		那	89.364		
5	安		城	99.932	31	大	垣	西	95.640	57	名	古	屋	南	88.828	
6	熱	海	南	99.675	32	名	古	屋	東	95.428	58	高		山	88.735	
7	浜	松	東	99.620	33	津		島	95.295	59	桑		名		88.508	
8	伊		東	99.539	34	岐		阜	95.248	60	伊		那		88.279	
9	駒	ヶ	根	99.080	35		津		95.148	61	松		本		87.316	
10	豊	橋	北	98.986	36	名	古	屋	北	95.052	62	魚		津		87.197
11	名	古	屋	西	98.352	37	岡		崎	94.852	63	中	津	川		87.035
12	四	日	市	98.283	38	松	本	南	94.720	64	富		山			86.838
13	蒲		郡	98.057	39	豊		川	94.403	65	諏		訪			86.800
14	岐	阜	西	97.599	40	清		水	93.968	66	上		田			85.923
15	一		宮	97.516	41	砺		波	93.778	67	田		原			85.711
16	高		岡	97.333	42	西		尾	93.740	68	岡		谷			85.095
17	沼	津	北	96.993	43	小		松	93.401	69	下		田			84.725
18	碧		南	96.931	44	静		岡	93.226	70	七		尾			82.386
19	豊		橋	96.838	45	金	沢	東	93.139	71	焼		津			81.487
20	刈		谷	96.726	46	金		沢	92.342	72	下		呂			79.448
21	浜		松	96.587	47	松		阪	92.173							
22	豊		田	96.538	48	尾		西	91.985							
23	静	岡	東	96.141	49	美		濃	91.877							
24	四	日	市	北	96.131	50	名	古	屋	91.760						
25	多	治	見	96.083	51	上		野	91.263							
26	瀬		戸	95.966	52	犬		山	91.160		平		均			93.425

第360区1962年7月出席表

順位	ク	ラ	ブ	名	会員数	出席率(%)	例会数
1	豊	橋	北		44	100.00	5
1	沼		津		53	100.00	4
1	沼	津	北		40	100.00	5
1	駒	ヶ	根		39	100.00	5
1	津		嶋		48	100.00	4
1	高		岡		45	100.00	4
1	吉		原		45	100.00	4
1	熱		海		44	100.00	4
1	浜	松	東		43	100.00	4
1	三		嶋		38	100.00	4
1	美		濃		28	100.00	4
1	熱	海	南		24	100.00	4
13	豊		田		36	99.31	4
14	碧		南		35	99.29	4
15	静	岡	東		46	98.92	4
16	大	垣	西		26	98.43	5
17	岡		崎		44	98.30	4
18	伊		東		48	98.18	5
19	一		宮		66	98.10	4
20	四	日	市		78	98.08	4
21	四	日	市	北	27	97.85	5
22	名	古	屋	西	77	97.77	4
23	土		岐		37	97.70	5
24	岐	阜	南		54	97.69	4
25	蒲		郡		44	97.67	4
26	安		城		41	97.56	4
27	豊		川		32	97.51	5
28	多	治	見		48	97.40	4
29	清		水		44	97.34	5
30	飯		田		44	97.16	4
31	豊		橋		59	96.79	4
32	刈		谷		37	96.75	5
33	名	古	屋	北	52	96.63	4
34	砺		波		40	96.48	5
35	大		垣		51	96.00	4
35	岐	阜	西		35	96.00	5
37	犬		山		39	95.90	5
38	端		浪		41	95.73	4

順位	ク	ラ	ブ	名	会員数	出席率(%)	例会数
39	浜		松		68	95.59	5
40	伊		勢		55	95.45	4
41	松	本	南		31	95.38	5
42	静		岡		86	95.30	5
43	瀬		戸		35	95.00	4
44		津			53	94.86	4
45	田		原		25	94.65	4
平均出席率						94.55	
46	名	古	屋	南	56	94.02	4
47	金	沢	東		75	93.88	5
48	西		尾		37	93.52	5
49	桑		名		39	93.34	5
50	岐		阜		71	93.31	4
51	上		野		46	92.94	5
52	中	津	川		39	92.60	4
53	小		松		46	92.39	4
54	名	古	屋		170	92.07	5
55	半		田		47	92.02	4
56	松		坂		46	91.30	4
57	恵		那		32	90.63	4
58	金		沢		81	90.31	4
59	名	古	屋	東	37	90.27	5
60	上		田		38	88.16	4
61	魚		津		33	88.06	4
62	下		田		27	87.92	4
63	高		山		37	87.84	4
64	松		本		57	87.72	4
65	嶋		田		33	87.10	4
66	尾		西		49	86.94	5
67	富		山		63	86.88	5
68	七		尾		39	86.84	4
69	諏		訪		36	86.80	4
70	焼		津		46	86.42	4
71	伊		那		38	85.78	4
72	下		呂		32	81.25	4
73	岡		谷		35	81.14	4

国際ロータリー第 360 区
Rotary International

ガバナー事務所

岡崎市明大寺町向山 2

内 藤 卯 三 郎

電 話 (岡崎) 1 3 7 9 番

〔次期ガバナー指名委員会〕

(Nominating committee of 1963—1964
District Governor)

第 360 地区ガバナー指名委員会は協議の結果、静岡クラブ所属の静岡市八幡本町 1 の 1 番地の上野次郎吉氏を次期ガバナー候補として指名することになった。

なお、他の候補者を推薦されるクラブのある場合は来る昭和37年 9 月 25 日までに現ガバナーまで御申出相成たく、該期日までに御申出がなければ上野次郎吉氏を360区のガバナー被指名者として宣言いたします。

上 野 次 郎 吉 氏 経 歴

生 年 月 日	明治 40 年 9 月 19 日
原 籍	鹿 児 島 県 川 内 市
現 住 所	東京都渋谷区代々木上原町1160番地
仮 寓 所	静岡市八幡本町 1 丁目 1、ガス寮
学 歴	昭和 8 年 3 月京都帝国大学法学部卒
職 歴	昭和10年 7 月静岡瓦斯株式会社入社 昭和15年 2 月同社取締役就任 昭和23年 5 月同社取締役社長に就任 現在に到る

ロータリー歴	昭和25年 4 月静岡ロータリークラブ再承認と同時に参加
	昭和28年 7 月 副会長
	昭和34年 7 月 会 長
	昭和35年 7 月 第360区地区資金委員
	昭和37年 5 月 島田クラブ設立につき特別代表

国際ロータリー第 360 区
Rotary International

ガバナー事務所

岡崎市明大寺町向山 2

内 藤 卯 三 郎

電話 (岡崎) 1 3 7 9 番